

## 第77回国民体育大会（2022年度栃木国体）選手選考基準

一般財団法人大分陸上競技協会

はじめに

怪我や病気（新型コロナウイルス感染症を含む）の影響により選考会に出場できない選手に対しての救済措置は行わない。

### 1. 国民体育大会代表選手数とエントリーについて

- (1) 国民体育大会の陸上競技大分県代表選手数は男子19名・女子19名以内の男女29名以内である。
- (2) 成年男子三段跳・成年女子5000m競歩・成年女子棒高跳は少年区分からもエントリーできる。
- (3) 男女混合マイルのチーム編成は男女2名ずつとし、男女とも少年ABから各1名、残りの男女は全てのカテゴリーを対象に選出できる。
- (4) 成年少年男女4×100mRのチーム編成は、成年、少年A、少年Bの選手を各1名と、残りは全てのカテゴリーを対象に選出できる。

### 2. 派遣標準記録突破期間について

- (1) 次の種目は競技特性を考え、派遣標準記録は2021年（令和3年）11月から2022年（令和4年）7月10日（日）までを突破期間とする。  
成年男子10000m競歩 少年男子共通5000m競歩 成年女子5000m競歩  
成年女子5000m 少年男子A5000m 少年女子A3000m
- (2) (1)以外の種目の派遣標準記録は2022年（令和4年）1月から2022年（令和4年）7月10日（日）までを突破期間とする。

### 3. 選手選考は、次の(1)～(6)の内容で選手を選考する。

- (1) 派遣標準記録A突破者で大分県代表選手に適切と判断できること。
- (2) 派遣標準記録B突破者で大分県代表選手に適切と判断できること。ただし、成年種目はB標準記録を設定しない種目がある。
- (3) 成年少年共通女子4×100mRは、近年の国体において入賞した実績があり、第77回国民体育大会（栃木国体）においてもリレーチームを編成し、出場すれば得点の可能性が他種目より高くなることを見込めるため、優先的に該当選手を選考する。ただし、該当選手が少年選手の場合、個人種目で派遣標準記録B程度の記録を有していること、成年選手は11秒台の記録を有していることを前提とする。
- (4) 成年男女300mは派遣標準記録を突破している選手がいない場合、男女200m及び400mで日本陸上競技選手権入賞者がいた場合は、最上位の選手を選考する。
- (5) 次の成年種目は、過去の国体でのエントリー選手数が少ない傾向にあり、出場すれば他種目より得点の可能性が高くなることを見込めるため、派遣標準記録Bを突破すれば選手を選考する。  
①成年男子3000mSC ②成年女子800m ③成年女子5000m
- (6) 派遣標準記録ABを突破していない少年・成年選手で、同年ランキング上位の選手を選考する。

#### 4. 選手選考の際、次のようなことを考慮する。

- (1) 原則、2022年のランキングを活用して選手選考を行う。
- (2) 種目の特性上、出場機会の関係や同一種目で選考が難しい場合は、WA スコアリングテーブルを活用して選手選考を行う。
- (3) 同一少年種目で派遣標準記録を複数の選手が突破している場合、直接対決の結果を参考に選手選考を行う。

#### 5. その他

- (1) 原則、「第76回大分県陸上競技選手権」または「国体標準記録チャレンジ記録会」に出場していることを選考条件とする。
- (2) 選考された選手が、怪我や病気（新型コロナウイルス感染症の影響を含む）で長期的に練習を休養して国体出場に向けての準備が調わない場合や、メディカルチームのメディカルチェックによりドクターの診断で出場に際して前向きな見解が得られない場合は選手を変更する場合がある。
- (3) 怪我や病気など練習や競技に支障をきたす状況（3日以上通常練習ができない等）になった場合は、国体監督に必ず連絡すること。
- (4) 「大分県代表に適切と判断できる選手」とは、アスリートとして必要な資質を有し、競技に取り組む姿勢はもとより身だしなみ（服装や頭髪等）も含め生活態度全般も他の選手（競技者）の模範となり得る選手。そして、県民の皆様方より心から応援していただける選手を指す。

#### 6. 代表選手の決定

- (1) 選手の決定は、7月中旬の大分陸上競技協会理事会で正式決定する。それ以降のエントリー選手変更（怪我・故障等）については、監督を中心とする国体スタッフ並びに大分陸協強化委員長と協議し、大分陸上競技協会専務理事の承認を経て監督判断のもと選手変更の決定をする。